

Off Shore



平成 26 年 12 月発行

平成 26 年国際医療福祉大学熱海病院 大忘年会



優勝発表が終わった途端、「来年こそは！」と多くの部署がメラメラと心の炎を燃やし始めていました。

忘年会の最後は、これまた恒例の「大抽選会」が行われ。テレビやペアチケット等々豪華賞品が次々と当たり(今年最後の運だめし)、場内はあちらこちらから歓声とタメ息に包まれ終了しました。

毎年恒例の熱海病院忘年会は、年々スケールと内容が増し職員一同楽しみにしております。

今年も300名以上の職員が参加し、各部署対抗の「出し物」ではオリジナリティーやパフォーマンスを競い合いました。各部署ともユニークでクオリティーが高く目を見張るものばかりでした！今年の優勝は「リハビリ部門」で、2度目の優勝となりました。



院内看護研究発表会

12月5日(金)院内看護研究発表会が行われました。

研究を進めるにあたり、国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科准教授吉岡さおり先生のサポートを受け、5月に「看護研究の進め方」についての講義、8月と10月には研究指導を受け、この日を迎えました。



発表演題は全部で11題あり、それぞれのセクションの特徴が現れるものでした。フットケアや褥瘡予防、転倒・転落防止に向けた取組み、外来受診者の主訴に対する看護師のアセスメント過程についてなど、日ごろの看護実践の取り組みやケアをする中での疑問から研究テーマを取り上げ、よい看護実践をめざして各セクションでの研究が進められました。忙しい日々の中、立ち止まって自分たちの看護実践について考え、新たな発見を得る機会となりました。発表会には107名が参加し、参加者もそれぞれの発表を聞き、自分たちの看護実践について考え、看護の視点を広める場となりました。

来年2月には、東京で関連病院の看護研究発表会も予定されています。今回の看護研究発表会を経て、さらによりよい研究発表ができることと思います。

5 階病棟 部署紹介

5 階病棟は外科（一般外科、整形外科、移植外科）の患者様を受け入れています。

【主な疾患】

一般外科：悪性腫瘍・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・イレウス・胆石胆嚢炎
肺炎・大腸ポリープ・虫垂炎・鼠径ヘルニアなど

整形外科：大腿骨頸部骨折・変形性膝・股関節症・脊柱管狭窄症など

移植外科：腎移植・シャント閉塞・内シャント増設・腹腔内悪性肉腫

毎朝各チームでウォーキングカンファを行い患者様の状態を把握し、患者様と一緒に一日のスケジュールや看護計画、看護ケアの提供を行っています。

またスタッフ内で各科及び各チームを編成し、各科の勉強会開催や退院調整、緩和ケア、急変時の対応等、知識と技術の向上に努めています。

他にも「いきいきとした職場づくり」をテーマにフィッシュ活動にも力を入れており、毎年ハロウィンパーティー等を企画し、患者様に寄りそえるような看護を目指しています。スタッフ間では果物狩りなど皆で楽しめるような企画を考えています。

<先輩からのメッセージ>

5 階病棟では毎日手術があり、術前～術後の周手術期の看護が学べます。

イベントごとたくさんあり、先輩方・同期の新たな一面も知ることができ、仲を深めることができます。とても楽しい病棟です。



毎年恒例のハロウィンイベント



7 階病棟は、脳外・神経内科・呼吸器外科・呼吸器内科・耳鼻科・口腔外科・眼科の混合病棟です。様々な疾患の患者様が入院しており、大変さもありますが学びも多い病棟です。「7階は怖い！」なんて噂もあるようですが（笑）。スタッフ間のコミュニケーションも良好で、体交やケア等みんなで協力し合いながら日々頑張っています！

またスタッフのモチベーションUPのため、今年度より『ゆかいな仲間たち』スタッフが中心に「いいね！！」と思ったスタッフに『♡スマイルポイント♡』を贈呈しあったり、『♡ゆかいな仲間達新聞♡』を発行したりと新たな取り組みも始まっています。

また、以前からの取り組みである「口腔ケア」に対しても、誤嚥性肺炎予防のために引き続き力を入れて頑張っています！その結果「7階の患者さんの口の中は綺麗だね！」と口腔外科の医師に褒められるようになりました。大変なところもありますが、若手のスタッフが中心に協力し合いながら成長できる病棟です。皆さんも私達と一緒に和気あいあいと働きませんか？



国試対策アドバイス（第2回）

国家試験までいよいよ3ヶ月となりました。皆さんも自分の勉強方法を確立してきていると思います。

今回は参考までにどんな勉強を行っていたのかを書いていきます。

国家試験の勉強ポイントは、①苦手科目②過去問③必修問題の3点だと思います。国家試験の範囲はとても広く、どこから手をつけていいかわからなくなっていることはありませんか？私はまず苦手な科目から勉強を進めていきました。今の時期は一通り、問題集を解いて苦手な科目や傾向が分かってきていると思います。苦手科目の過去問をひたすら解いていき、解説をよく読み、分からない箇所を参考書や教科書を使って調べると言う作業を繰り返していました。国家試験は、過去問の類題が多いため過去問を繰り返し勉強することで国家試験に対応する力がついてくると思います。また、この傾向は特に必修問題に強いと思います。必修問題は基礎でもあるため一般問題や状況設定問題を解くうえでも重要です。

今の時期、焦りを感じている人もいると思います。しかし、勉強した分だけ着実に力はつきます。

コツコツと頑張っていきましょう！

